

1200万署名・NPT代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03 5842 6031 FAX:03 5842 6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2009年12月24日 No.21 NPTまであと131日

岡山・倉敷
医療生協

「NPT参加者を送り出す会」を結成

29000筆署名と120万円募金で4人の派遣成功を

岡山県倉敷市の医療生協代表4人の派遣運動を成功させようと「NPT再検討会議参加者を送り出す会」の結成会が12月22日、倉敷・水島生協会館で行われました。

午後6時から開かれた結成会には水島原水協に参加する組織の代表や、職場の仲間、さらに代表理事の地元からも参加するなど80人を超える仲間が参加。派遣運動を成功させようと熱気溢れるつどいになりました。

結成会は最初に、谷口朋美岡山県平和委員会事務局次長が「NPT再検討会議とは?」と題して、NPTの内容と歴史的経過、2010年の再検討会議の役割について講演しました。つづいて代表に決まった和泉伸子(生協理事)、塚原朋子(看護師)、福田宏史(P T)、下須賀香奈子(看護師)の4人がそれぞれ決意表明しました。

「会」では29000筆の署名と120万円の派遣募金を目標に「多くの人の英知と運動を結集」する申し合わせを確認。「私たちの代表として平和を望む願いをしっかりと国連に届けて欲しい」と激励のエールが送られました。

閉会のあいさつに立った倉敷医療生協清瀬専務は「医療生協の理念は平和。命を守ることを使命としている医療生協は命を奪う戦争に絶対反対。NPT再検討会議成功に向け全力をあげて頑張りましょう」と訴えました。

原水協長崎県代表団がNPT ニューヨーク派遣結団式



来年5月の核拡散防止条約(NPT)再検討会議に長崎県から派遣される代表の結団式が12月23日、長崎市桜町の県勤労福祉会館で行われました。

結団式には約40人が県内各地から参加。県原水協役員や大学生ら約30人になる見込みの代表団(吉岡賢団長)のうち、出席した16人が1人ずつ抱負を語りました。被爆者の佐久間洋子さん(69)は「悲惨な体験を世界中の子どもたちにさせたくないという思いで、核廃絶を訴えたい」と話しました。

NPT再検討会議に合わせた訪米に向け、抱負を語る代表団のメンバー(12月23日、長崎市、県勤労福祉会館)



決意を語る左から代表の和泉、塚原、福田、下須賀の4氏



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/g-news/>
携帯電話からもアクセスできます。